

自分の視野を広げるために 探求プレゼン

2月6日(土)に体育館で1年生の探求プレゼンが行われ、8人の生徒がそれぞれ興味のある分野について発表してくれました。どの発表も大変素晴らしく、自分が知らなかったことを知る良い機会となりました。発表してくださった皆さん本当にありがとうございました。

村田 圭吾①(吾妻)



↑今回発表した代表者
左上から堀越・西村・高塚
左下から萩原・野田・田中・金谷・薄井

★萩原 響希1年4組(八郷)

テーマ:警察官について

今まで学年全体に発表するといった機会がなく、今回のプレゼンはとても緊張しました。しかし、しっかりと最後まで同じ声の大ききで読み切ることができてよかったです。今回の経験を今後のプレゼンに生かしていきたいと思えます。

★西村 彩矢奈1年6組(谷田部)

テーマ:薬剤師について

それぞれのスライドが見やすく、分かりやすかった。

★薄井 詩門1年7組(谷田部東)

テーマ:IT・コンピュータについて

相手を飽きさせないように工夫をしました。でも、自分が後で恥ずかしくなりました。また、もう少しわかりやすい例え方をすればよかったですと後悔しています。



結果
最優秀賞:1組 野田 大翔(牛久一)
優秀賞:7組 薄井 詩門(谷田部東)
特別賞:4組 堀越 和果(桜)

↑最優秀賞の野田 大翔①(牛久一) 左上はプレゼンスライド

未来の自分を変えていけ!! ~合格者体験談~

2月17日(水)にZoomで大学合格を決めた3年生から受験の体験談を聞く合格者体験報告が行われました。それぞれ自分の将来を考える貴重な機会となりました。



↑1年生の教室正面モニターから3年生の合格体験の話を書きました。

僕は、合格者体験談を聞いて、3年生になったときに困らないために今から準備をしておくことが大切だと感じました。特に検定試験や評定をしっかりと取っておかないと出願すらできない大学もあることを知りました。日々の積み重ねで自分の未来が変わるので、1分1秒を大切に過ごしていきたいと思えます。3年生の皆さん貴重な話をしてくださり、本当にありがとうございました。

村田 圭吾①(吾妻)



↑別の教室からZoomで3年生の先輩たちが話をしてくれました。

先輩からの体験談を聞いてこれから受験生なんだという自覚がより一層高まった。これからはそのことをわすれずに勉強していきたい。

滝本 涼太②(守谷愛宕)

本校出身の先生にインタビュー!

本校第2期生で石好きで有名な石田 千佳先生(理科)にお話を伺いました。

Q 高校時代の思い出は?

A 数学の横須賀先生に数学を教えてもらうために、みんなで毎日先生のところに通ったこと。
Q 座右の銘は?
A 「心を燃やせ!」

Q 尊敬している人は?

A 煉獄杏寿郎(鬼滅の刃)、スネイプ先生(ハリーポッター)
Q 母校の教員をしてよかったことは?
A 生徒とのいい思い出で学生時代の思い出を塗り替えられること。
Q 高校時代の後悔していることは?
A 反抗期で勉強をしていなかったこと。
Q 先生が目指す理想の教師像は?
A 家族みたいな一緒にいていつも楽しく幸せになれるような教員!
Q 生徒に求めていることは?
A 何がとっても強い人間、大変なことがあっても強靭な羽を持って!
Q 秀英の先輩として求めていることは?
A 知識は人を守る、自分や他人を守るために勉強してほしい!



笑顔がとっても素敵な石田 千佳 先生

現代の科学で地球にやさしい環境を ソーラークッカー

突然ですが、皆さんはソーラークッカーというものを知っていますか?

それはもしかすると、もっと環境に優しい地球を実現することができる可能性を秘めているかもしれません。今回はソーラークッカーについて紹介したいと思います。

原田 大雅①(野田一)

ソーラークッカーの原理(右図参照)

まず、ソーラークッカーというのは、ソーラー発電やソーラー暖房のように太陽の光や熱を利用した調理器具のことです。燃料が不要でキャンプや災害時に重宝されると注目を浴びています。地球に降り注ぐ太陽エネルギーの量は、農林水産省の資料によると1秒あたりに42兆キロカロリーで、これは地球で生活する人たちの消費する1年間のエネルギーを45分でまかなうことができる莫大な量です。ソーラークッカーは、この太陽のエネルギーを燃料にした調理器具なのです。太陽の光をいっぱい浴びさせて温めたり、温めながら保温したりして料理する道具で、太陽からの光を分散させないように、光沢のある反射板を使って、できるだけ一ヶ所に集めるようにして熱効率を上げています。光が集まった所に黒い鍋や容器を置くことで熱を吸収させ熱くしたり温めたりすることができます。

家でもソーラークッカー作り→
ソーラークッカーを作るのは難しいと
思っている人が多いですが、実は簡単に
作ることができます。主に手作りのソー
ラークッカーは、箱や傘を使う事が多いで
す。

ソーラークッカーの重要性
ソーラークッカーはとても重要なものだ
と言われています。ソーラークッカーは光
エネルギーを熱エネルギーに変えること
ができるので、余計なエネルギーを使わ
ずに、地球の環境を保護することができます。
ソーラークッカーをもっと普及させ
れば、みんなで優しい環境を作っていくこ
とができます。



←ソーラークッカーの原理
http://oasis.andrew.ac.jp/~i
wao/solar/_src/sc354/83X8
38983C83h2.jpg



傘のソーラークッカー
↑http://hanakurobei.cocolog-
nifty.com/photos/uncategorized/2012/0
3/04/photo_2.jpg



↑ソーラークッカー
http://www.rainworld.jp/solarworld/llprem14
.jpg

エイプリルフールで楽しい一日を

皆さんは「4月1日」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか。そう、エイプリルフールです。今回はエイプリルフールについて紹介します。これである4月1日が待ち遠しくなります。

村田 圭吾①(吾妻)

エイプリルフールの基本的なルールとして、「人を傷つけるような嘘をついてはいけない」「嘘をつき返してはいけない」という、各国に共通しているルールがあります。「嘘をついてみんなで笑い合う」というコンセプトが、各国の共通認識です。

中国では、文化的な伝統や社会主義の価値観にそぐわないという理由から、エイプリルフールで嘘の発言を慎むよう政府やメディアが呼びかけています。また、インドネシアやマレーシアなど、イスラム教信者の多い国では、エイプリルフールに基づく嘘を禁じています。イスラム教の聖典であるコーランに、「他人に嘘をついてはいけない」という一文があり、イスラム教では宗教的にエイプリルフールが禁止されています。

まず、日本におけるエイプリルフールの歴史について紹介します。かつての日本には、中国伝来の風習である4月1日を「不義理の日」とするものがあり、疎遠になってしまっている相手に対し、手紙などで失礼を詫言するための日でした。エイプリルフールは大正時代に欧米から始まり、全国に広まってきました。近年は、SNSなどを利用してエイプリルフールに合わせた嘘の情報が回るなど、若者を中心に注目されていることも特徴です。

続いてエイプリルフールの由来について紹介します。様々な説があり、はっきりとした事はわかっていませんが、有力な説を2つ紹介します。
・1つ目は、フランスで起こったとされる説です。その昔、ヨーロッパでは3月25日を新年として、4月1日まで春の祭りが開催されていましたが、1564年に1月1日を新年とするグレゴリオ暦を採用。これに反発した人々が、4月1日を「嘘の新年」として馬鹿騒ぎをはじめたことに由来するというものです。
・2つ目は、インドで起こったとされる説です。インドの仏教徒は春分の日から3月末まで修行を行います。ところが、せっかく修行をしてでも4月1日になるとその修行が嘘だったかのように俗人になってしまうことから、4月1日を「揶揄節(やゆせつ)」と呼んでからかったことに由来するという説です。



企業がついた面白い嘘を紹介します。

- 1.ケンタッキーフライドチキン「骨だけチキン」
ホームページに「お肉はスタッフが美味しくいただきました。」と書いてあり、ユーモアたっぷり。
- 2.ブラックサンダー「ブラックサンダーEats」
どこでも好きな食べ物を配達してくれるサービス『uber eats』をもじった、その名も『ブラックサンダーEats』。ブラックサンダーは定価通りの1本30円ですが、別途送料がかかるとのこと。注文する本数によっては送料のほうが多かりそうな……。
- 3.パインアメ「1本パインアメ」
輪切りにする前のパインアメを広告として使ったそうです。
- 4.カルビー「飲むピザポテト」
「ピザポテトは飲み物ですよ?」というお客様の声から商品化に至ったそうです。これはカロリーゼロなのでご安心を! ?ピザポテトの濃厚な味をゼリーにするのは良くない相乗効果を生みそうですが、逆に商品化に期待したいところです。カロリーゼロのピザポテトは誰も食べたいですからね。